2024年3月更新

アムロジピン OD 錠 2.5mg「NP」 アムロジピン OD 錠 5 mg「NP」 アムロジピン OD 錠 10mg「NP」

【この薬は?】

	アムロジピン 0D 錠	アムロジピン OD 錠	アムロジピン OD 錠
販売名	2.5mg 「NP」	5 mg 「NP」	10mg 「NP」
	Amlodipine OD Tablets	Amlodipine OD Tablets	Amlodipine OD Tablets
一般名	アムロジピンベシル酸塩		
	Amlodipine Besilate		
含有量	3.47mg	6.93mg	13.87mg
(1錠中)	(アムロジピンとして	(アムロジピンとして	(アムロジピンとして
(1 姚甲/	2.5mg)	5 mg)	10mg)

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤 師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。 さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」 https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html に添付文書情報 が掲載されています。

【この薬の効果は?】

- ・この薬は、カルシウム拮抗剤と呼ばれる薬です。
- ・この薬は、末梢の血管を拡げて血圧を低下させます。また、心臓の血管(冠血 管)に働いて、狭心症の発作を予防します。
- ・次の病気の人に処方されます。

〇高血圧症

〇狭心症

- ・この薬は効果の発現が緩やかであるため、緊急な治療が必要な不安定狭心症に は効果が期待できません。
- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減した

りすると病気が悪化することがあります。<u>指示どおりに飲み続けること</u>が重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは?】

- ○次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・過去にジヒドロピリジン系化合物 (ニフェジピン、ベニジピン塩酸塩、アゼルニジピンなど) で過敏症のあった人
- ○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に告げてくだ さい。
 - ・過度に血圧の低い人
 - ・ 腎臓に重篤な障害のある人
 - ・肝臓に障害のある人
 - ・妊婦または妊娠している可能性のある人
 - ・授乳中の人
- ○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新た に使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は?】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。 通常、飲む量および回数は、次のとおりです。

[成人の場合]

	高血圧症の場合	狭心症の場合
一回量	$2.5 \mathrm{mg}{\sim} 5 \mathrm{mg}^*$	5 mg
飲む回数	1日1回	1日1回

^{*1}回5 mg を服用しても効果不十分な場合には、1回10 mgまで増量されることがあります。

[6歳以上の小児の場合]

	高血圧症の場合
一回量	2.5mg*
飲む回数	1日1回

^{*6}歳以上の小児の場合、1回5mgを超えて投与されません。

●どのように飲むか?

- ・口の中で溶かして飲む薬です。舌の上にのせ唾液で湿らせて舌で軽くつぶし 水なしで飲むことができます。また、コップ1杯程度の水またはぬるま湯で 飲むこともできます。
- ・口の中で速やかに崩壊しますが、口の粘膜からの吸収により効果発現を期待する薬ではないため、崩壊後は唾液や水またはぬるま湯で飲み込んでください。
- ・錠剤を割った場合は早めに飲んでください。割った錠剤をやむを得ず保存する場合は、湿気と光を避けて保存してください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は 1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時(過量使用時)の対応

ショックを含む著しい血圧低下(脱力感、めまい、ふらつき、立ちくらみ、意識の消失)、反射性頻脈(動悸(どうき)など)があらわれることがあります。これらの症状があらわれた場合は、使用を中止し、ただちに医師に連絡してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは?】

- ・血圧が下がることにより、めまい、ふらつきがあらわれることがあるので、高 所作業、自動車の運転など危険を伴う機械の操作には注意してください。
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人は医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・グレープフルーツジュースはこの薬に影響しますので、控えてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬 を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は?

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

	たために医師よたは発別師に省談してくたるい。
重大な副作用	主な自覚症状
劇症肝炎	急な意識の低下、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、
げきしょうかんえん	体がかゆくなる、尿の色が濃くなる、お腹が張る、急激に
	体重が増える、血を吐く、便に血が混じる(鮮紅色~暗赤
	色または黒色)
肝機能障害	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不
かんきのうしょうがい	振
黄疸	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる、
おうだん	体がかゆくなる
無顆粒球症	突然の高熱、寒気、喉の痛み
むかりゅうきゅうしょう	
白血球減少	突然の高熱、寒気、喉の痛み
はっけっきゅうげんしょう	
血小板減少	鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、出血が止まりに
けっしょうばんげんしょう	< V)
房室ブロック	めまい、気を失う、立ちくらみ、脈が遅くなる、息切れ
ぼうしつブロック	
横紋筋融解症	手足のこわばり、手足のしびれ、脱力感、筋肉の痛み、尿
おうもんきんゆうかいしょう	が赤褐色になる

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	体がかゆくなる、急激に体重が増える、疲れやすい、体がだるい、力が
	入らない、突然の高熱、寒気、出血が止まりにくい、脱力感
頭部	急な意識の低下、めまい、気を失う、立ちくらみ
顔面	鼻血
眼	白目が黄色くなる
口や喉	血を吐く、吐き気、喉の痛み、歯ぐきの出血
胸部	息切れ
腹部	お腹が張る、食欲不振
手・足	脈が遅くなる、手足のこわばり、手足のしびれ
皮膚	皮膚が黄色くなる、あおあざができる
筋肉	筋肉の痛み
尿	尿の色が濃くなる、尿が赤褐色になる
便	便に血が混じる (鮮紅色~暗赤色または黒色)

【この薬の形は?】

1-0200000			
販売名	アムロジピン OD 錠 2.5 mg「NP」	アムロジピン OD 錠 5 mg「NP」	アムロジピン OD 錠 10 mg「NP」
形状	素錠 (口腔内崩壊錠)	割線入り素錠 (口腔内崩壊錠) 332	割線入り素錠(口腔内崩壊錠)
	2.5	5	
直径	7.0mm	8.0mm	8.5mm
厚さ	2.2mm	3.4mm	4.7mm
重さ	100mg	200mg	250mg
色	淡橙色	淡橙色	淡橙色
識別コード	NP-331	NP-332	NP-133

【この薬に含まれているのは?】

販売名	アムロジピン OD 錠	アムロジピン OD 錠	アムロジピン OD 錠
	2.5 mg 「NP」	5 mg 「NP」	10 mg 「NP」
有効成分	アムロジピンベシル酸塩		
添加剤	D-マンニトール、結晶セルロース、クロスポビドン、アスパルテーム(L-		
	フェニルアラニン化合物)、1-メントール、ステアリン酸マグネシウム、黄		
	色5号		

【その他】

●この薬の保管方法は?

- ・直射日光と湿気を避けて室温 (1~30℃) で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら?

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は?】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師 にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社:ニプロ株式会社(https://www.nipro.co.jp/)

医薬品情報室

電話:0120-226-898

受付時間: 9時~17時15分

(土、日、祝日、その他弊社休業日を除く)